
「LC/QTOF-MS を中心とした機器分析による急性中毒起因物質の定性・定量と臨床データベースの構築に関する研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【埼玉医科大学病院 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2021 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の期間に埼玉医科大学病院 臨床中毒科を受診し、急性中毒と診断され、入院を必要とした治療を行なった患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

患者さんの診療記録と薬物の分析結果をまとめたデータベースを作成し、中毒の原因を専門的に詳しく調べられる体制（拠点）を作ることを目としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2026 年 2 月 9 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

※試料とは採取した検体（血液、尿）で、情報とは、診療時に行なった検査データ、診療記録等の中から得られるものとします。

※この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学病院】において、研究責任者である上條吉人が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

急性中毒と診断もしくは疑われた時に行なった検査データ、診療記録等の情報や採取した検体（血液、尿）の残りを用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 臨床中毒科 上條吉人（研究代表者）

4. 試料・情報の管理責任者

研究の資金源及び利益相反について

1. 研究の資金源

本研究は、埼玉医科大学病院臨床中毒センターおよび株式会社バイオデザインによる共同研究です。本研究に関する費用は埼玉医科大学臨床中毒センター基本学科研究費により賄い、分析機器は株式会社バイオデザインが所有し、埼玉医科大学病院内に設置されている機器を使用して行います。

2. 研究に係る利益相反について

本研究において、株式会社バイオデザインの研究員が分析業務を実施するにあたり、埼玉医科大学の特別協力研究員としての立場も有しています。このような関係が研究の中立性が公平性に影響を及ぼすことのないよう、それぞれの機関の利益相反委員会により、当該関係について適切な利益相反の申告および管理が実施されています。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 臨床中毒科 （担当者氏名：喜屋武玲子）

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1835（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：LC/QTOf-MS を中心とした機器分析による急性中毒起因物質の定性・定量と臨床データベースの構築に関する研究

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学病院 臨床中毒科 上條吉人